



インドネシアにおける低中所得者層の住居取得の促進及び生活の質向上に寄与

事業概要

本事業は、インドネシア共和国の地場金融機関PT Bank Tabungan Negara (Persero) Tbk（以下「BTN」という。）への融資を通じて、同国の低中所得者層への住宅ローン供給拡大を図り、もって低中所得者層の住居取得の促進及び生活の質の向上に寄与するもの。

本事業のポイント

1. 低中所得者層の安全で衛生的な住宅取得を促進

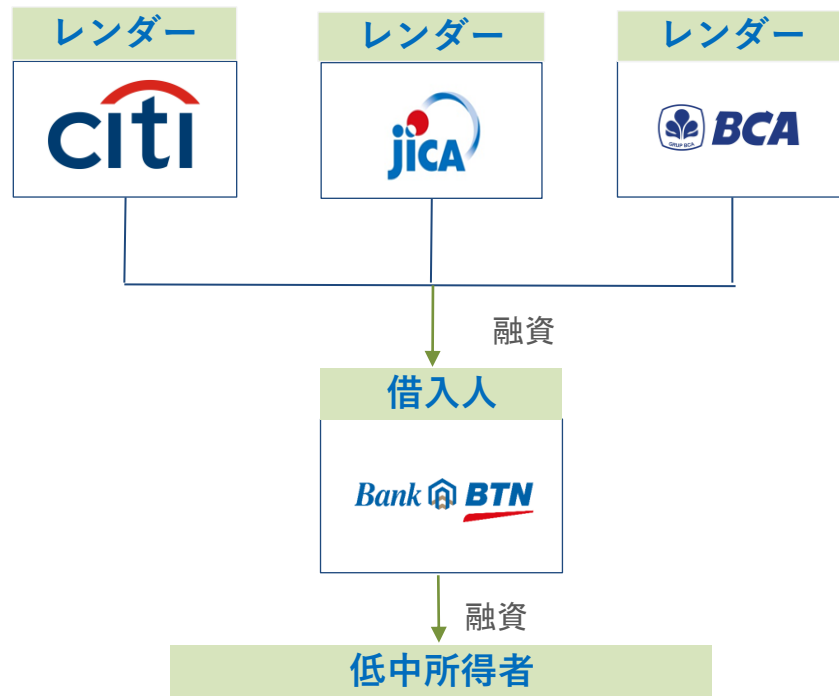
インドネシアでは人口増加、新世帯形成や都市への移住を背景に住宅取得需要が年々高まっている一方で、住宅を購入可能な世帯は購入意欲のある世帯の約20%程度に限られている。住宅の購入が出来ない住民は自身で建設した住宅に居住しており、これらは必要とされる安全基準を満たしていない為、自然災害に晒される危険が高く、社会課題となっている。加えて、COVID-19の観点からも密で不衛生な居住環境改善の重要性は高まっている。同国の住宅ローン市場において最大シェアを占めるBTNを通じて低中所得者層の安全で衛生的な住宅取得促進への貢献が期待されている。

2. 女性支援に貢献

BTNの住宅ローン借入人のうち約40%程度が女性。G7で推進する2X Challengeのイニシアティブに準じ、低中所得者女性の住宅取得の促進に貢献。

3. ASEAN海外投融資イニシアティブに合致

本事業はASEAN地域内での金融アクセス・女性支援に資する事業であり、Citiとの協調融資によって実施される。



低中所得者層向け住宅の写真